

# 事例 6

# 汎用性の高いほ場づくり

～ 斐川町の取り組み～

[ 斐川町 ]



斐川町では、昭和44年度に新川以南地区県営ほ場整備事業に着手して以来、農作業の省力化と汎用性の高いほ場づくりに取り組んできました。また、ほ場整備事業と併せてかんがい排水事業を積極的に導入しました。

安定的な用水確保による生産性の向上と品質の改善を目的とした用水対策

湛水防止による農業生産の安定と排水条件の改良を目的とした排水改良

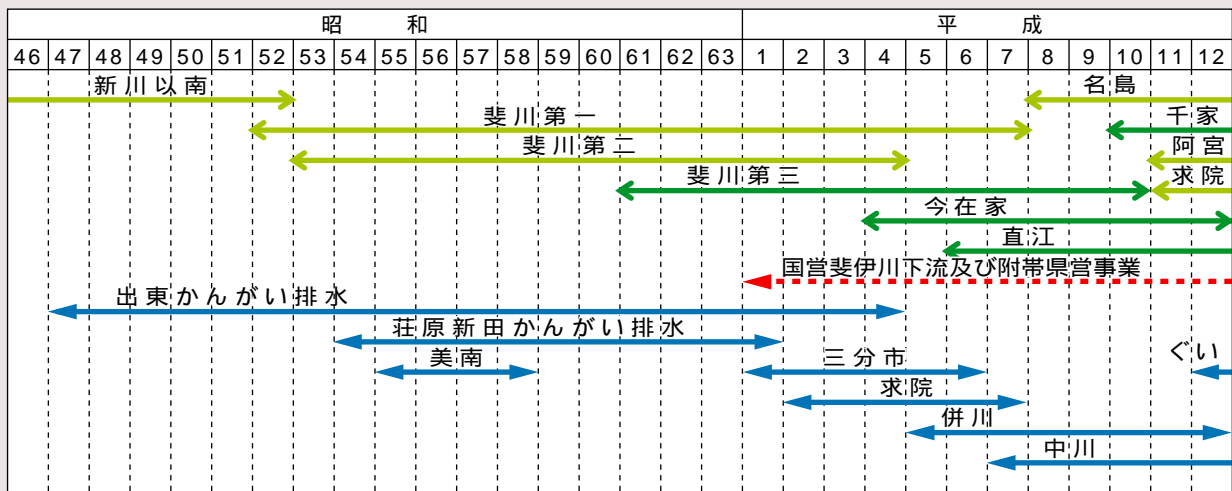
生産性の高い耕地を造成し、営農構造の改善と農業経営の向上を図る



麦の収穫



大豆の収穫

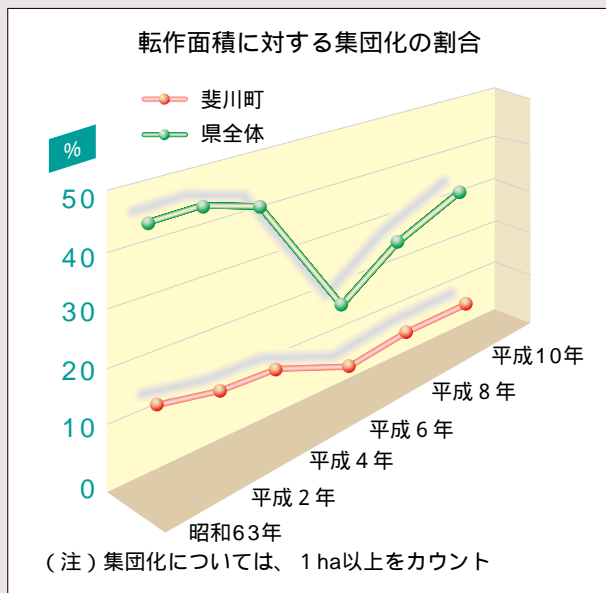


←→ ほ場整備事業  
 ←→ ほ場整備事業 (排水対策特別事業を併せて施工)  
 ←→ かんがい排水事業(排水)・排水対策特別事業  
 ←- - - かんがい排水事業(用水対策)

今在家地区以降に採択されたほ場整備地区は大  
 区画(おおむね50a~1ha以上)の農地が整備さ  
 れ、大規模な営農が可能となりました。  
 その結果、今在家地区、直江地区等においては組  
 合組織により大規模な集落営農が営まれていま  
 す。

平成5年の冷害を受け、平成6年度以降、県下で  
 の集団転作が低迷する中で、斐川町においては転  
 作の集団化率は上昇しており、農地の大区画化や  
 排水改良が集団転作に効果を発揮しています。

かんがい排水事業やほ場整備事業などの農業生  
 産基盤と併せて生産組織の体制も整備され、米  
 以外の農産物の生産も確実に伸びています。



チューリップの栽培

作物名	県内順位	生産量(トン)	県内シェア
二条大麦	1位	215	84.0%
タマネギ	1位	3,060	42.6
シクラメン	1位	185千鉢	42.2
キャベツ	1位	1,420	18.5
ピーマン	3位	59	6.3
キク	4位	450千本	9.3
大豆	4位	93	6.8
トマト	4位	199	6.5
ハウレンソウ	5位	134	6.0
デラウエア	5位	99	3.1
イチゴ	5位	15	3.0

(注)平成9年度データ